

鶴見俊輔のコスモロジー

[開催日時]

2025年

11月9日(日)

13:00~18:00

(12:30 受付開始)

[プログラム]

開会挨拶 13:00-13:10

基調講演 13:10-13:50 黒川 創(作家)

講演① 13:50-14:20 鶴見太郎(早稲田大学文学学術院 教授)

講演② 14:40-15:10 根津朝彦(立命館大学産業社会学部 教授)

講演③ 15:10-15:40 福家崇洋(京都大学人文科学研究所 准教授)

講演④ 15:40-16:10 藤原辰史(京都大学人文科学研究所 教授)

コメント 16:30-16:50

ディスカッション 16:50-17:55

閉会挨拶 17:55-18:00

▶ ご参加はコチラから <https://forms.gle/uCBqcmRmP5T5oV1U7>

[主催] 京都大学人文科学研究所

[共催] 京都大学成長戦略本部

京都大学人文情報学創新センター



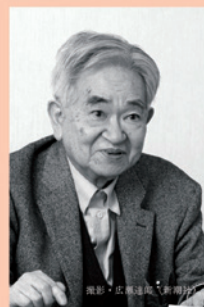
[会場]

京都大学総合研究4号館1階
共通1講義室

対面開催 | 無料(要事前申し込み)

定員 100名(申し込み先着順)

写真は鶴見俊輔の直筆のノート。内容の詳細は裏面へ。



暮らしに息づく
哲学を後世へ

— 鶴見俊輔・没後10年
資料継承プロジェクト —

プロジェクト代表
京都大学人文科学研究所 藤原辰史

クラウドファンディング挑戦中
(~2025年11月27日)

<https://academist-cf.com/projects/400>



鶴見俊輔のコスモロジー

めとした強大な力とのあいだのすさまじい緊張のなかで、匂いをもった「人間」を論じつづけ、そんな人間たちと共同で雑誌『思想の科学』を築いてきた哲学者である鶴見俊輔の試み。鶴見の試みを、さらに世の中へと開いて、現在を生きる困難に学びほぐしていけば、「スマート化」し「商品化」するアカデミズムだけではなく、世界戦時下の政治の、知からの退行を乗り越えるヒントが得られるのではないかと。鶴見俊輔文庫の設立を念頭に、可能性としての鶴見の哲学を、さまざまな角度から論じる。

[登壇者]



基調講演 13:10-13:50

黒川 創(作家)

「ノートに何を記したか」

代表作

- 『鶴見俊輔伝』(新潮社)
- 『日米交換船』(新潮社、鶴見俊輔・加藤典洋との共著)

画像提供: 新潮社



講演① 13:50-14:20

鶴見 太郎(早稲田大学文学学術院 教授)

「記憶と人物交流」

代表作

- 『柳田国男 感じたるまゝ』(ミネルヴァ書房)
- 『座談の思想』(新潮選書)



講演② 14:40-15:10

根津 朝彦(立命館大学産業社会学部 教授)

「鶴見俊輔とジャーナリズム思想」

代表作

- 『戦後『中央公論』と「風流夢譚」事件——「論壇」・編集者の思想史』(日本経済評論社)
- 『戦後日本ジャーナリズムの思想』(東京大学出版会)



講演③ 15:10-15:40

福家 崇洋(京都大学人文科学研究所 准教授)

「転向論再考」

代表作

- 『吉野作造の中国論の再検討』『人文学報』123号
- (共編)『思想史講義』(ちくま新書)



講演④ 15:40-16:10

藤原 辰史(京都大学人文科学研究所 教授)

「鶴見俊輔文庫の理念」

代表作

- 『食権力の現代史——ナチス「飢餓計画」の水脈』(人文書院)
- 『生類の思想——体液をめぐって』(かたばみ書房)



石井 美保[コメンテーター]

(文化人類学者・京都大学人文科学研究所 教授)

近著

- 『めぐりながれるものの人類学』(青土社)
- 『裏庭のまぼろし——家族と戦争をめぐる旅』(亜紀書房)



菅原 百合絵[司会]

(京都大学人文科学研究所 准教授・歌人)

代表作

- 『たましひの薄衣』(第49回現代歌人集会賞、第24回現代短歌新人賞受賞)
- Le sentiment intérieur et sa communication chez Jean-Jacques Rousseau (Thèse de doctorat soutenue à l'Université Paris-Cité)

- 京都大学生協ショップルネにて、鶴見俊輔関連書籍のブックフェアを開催予定!
- 内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

[表面写真の詳細]

鶴見俊輔が日米交換船で帰国したあと、海軍軍属になるまでの期間に、日本で書いた、自分の今後の方針をまとめた文章。アメリカのプラグマティズムについての覚書が中心である。執筆時期は、1942年8月(帰国し徴兵検査で第2乙種に合格)から、1943年2月に神戸港からジャバ島赴任するまでの間と思われる。

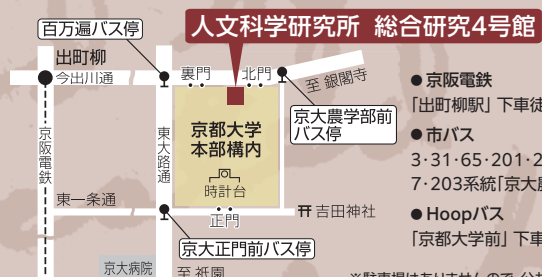


[問い合わせ] 京都大学人文科学研究所 総務部

Tel. 075-753-6902 (平日9:00-17:00)

e-mail: z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp



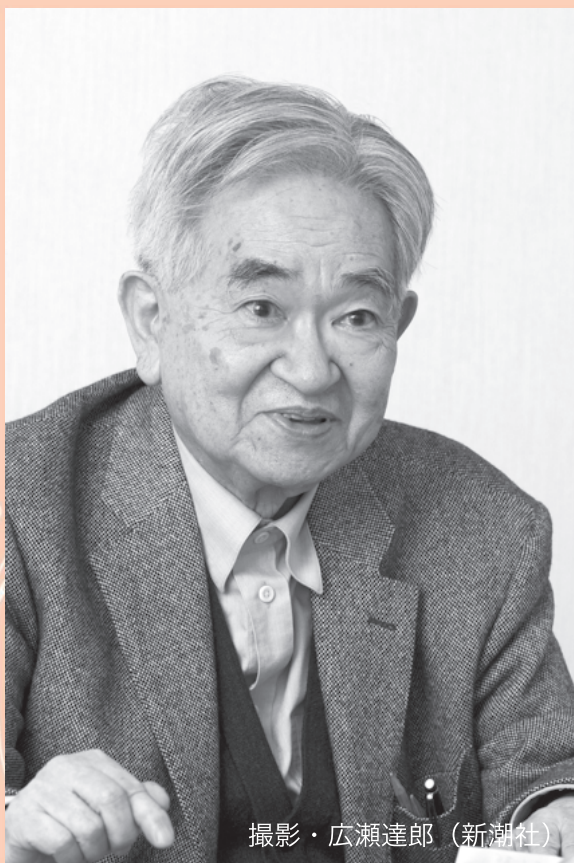
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

クラウドファンディング

NEXT GOAL 挑戦中

暮らしに息づく 哲学を後世へ

— 鶴見俊輔・没後10年
資料継承プロジェクト —



撮影・広瀬達郎（新潮社）

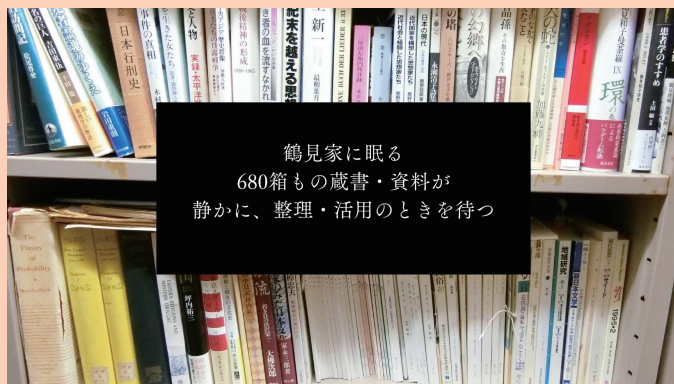
プロジェクト代表

京都大学人文科学研究所 藤原辰史



2025年は鶴見の没後10年という節目の年です。本プロジェクトでは、鶴見の遺した個人文書群に記されたアイデアや思索の痕跡を対象とし、ただ保存するだけでなく、そこに残された思索や人々との関係性を丁寧に分析・再構成し、多分野にまたがる新たな研究の地平を切り開きます。

京大・京都市の協力のもと実施するこのプロジェクトにぜひ参加し、一緒にこの知的遺産を未来へつなぎましょう。



鶴見家に眠る
680箱もの蔵書・資料が
静かに、整理・活用のを待つ

支援募集期間

2025 年

10/1 (水) ~ 11/27 (木)

第2目標金額

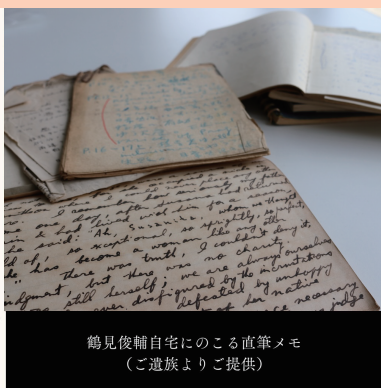
300万円

第1目標150万円
達成!

※ご寄付いただいた皆様へ、確定申告により税制上の優遇措置が適用される領収書を京都大学より発行いたします。

(鶴見の個人文書群は)
単なる記録ではなく、
一人の哲学者が生きた
思索の軌跡を物語る
「知の宝庫」です。

一本文より



鶴見俊輔自宅にのこる直筆メモ
(ご遺族よりご提供)

プロジェクトの
詳細・ご支援

アカデミスト 鶴見俊輔

検索

<https://academist-cf.com/projects/400>



※ 本プロジェクトは2025年10月1日(水) 10時00分から11月27日(木) 17時00分までの間に目標金1,500,000円を達成した場合のみ、決済が確定します。